

2.4 ひとり親世帯の悩み等

(1) 子どもについての悩み

悩みの内容について、母子世帯、父子世帯ともに、「教育・進学」が最も多く、次いで「しつけ」となっている。

表2.4-(1)-1 母子世帯の母が抱える子どもについての悩みの内訳（最もあてはまるもの）

	総数	しつけ	教育・進学	就職	非行・交友関係	健康	食事・栄養	衣服・身のまわり	結婚	障害	その他
平成28年 総数	(100.0)	(13.1)	(58.7)	(6.0)	(3.0)	(5.9)	(2.6)	(0.8)	(0.4)	(4.3)	(5.2)
令和3年 総数	860,284 (100.0)	76,073 (8.8)	518,336 (60.3)	49,513 (5.8)	16,774 (1.9)	44,846 (5.2)	26,278 (3.1)	8,335 (1.0)	4,286 (0.5)	55,721 (6.5)	60,122 (7.0)
0歳～4歳	70,311 (100.0)	16,845 (24.0)	24,599 (35.0)	425 (0.6)	376 (0.5)	4,615 (6.6)	9,215 (13.1)	944 (1.3)	1,463 (2.1)	3,263 (4.6)	8,566 (12.2)
5歳～9歳	167,575 (100.0)	35,525 (21.2)	82,745 (49.4)	0 (0.0)	4,338 (2.6)	9,440 (5.6)	7,547 (4.5)	2,012 (1.2)	838 (0.5)	15,708 (9.4)	9,422 (5.6)
10歳～14歳	303,506 (100.0)	17,439 (5.7)	218,942 (72.1)	2,238 (0.7)	6,525 (2.1)	9,620 (3.2)	6,369 (2.1)	3,576 (1.2)	515 (0.2)	20,529 (6.8)	17,752 (5.8)
15歳以上	318,893 (100.0)	6,264 (2.0)	192,050 (60.2)	46,850 (14.7)	5,535 (1.7)	21,172 (6.6)	3,147 (1.0)	1,802 (0.6)	1,470 (0.5)	16,222 (5.1)	24,382 (7.6)

注：1) 令和3年度の調査結果は推計値であり、平成28年度の調査結果の構成割合との比較には留意が必要。なお、比較に当たっては、政府統計の総合窓口（e-Stat）に掲載している実数値の構成割合と比較を行う必要があることに留意。

注：2) 表中の割合は「特に悩みはない」と不詳を除いた割合である。以下同じ。

表2.4-(1)-2 父子世帯の父が抱える子どもについての悩みの内訳（最もあてはまるもの）

	総数	しつけ	教育・進学	就職	非行・交友関係	健康	食事・栄養	衣服・身のまわり	結婚	障害	その他
平成28年 総数	(100.0)	(13.6)	(46.3)	(7.0)	(1.8)	(6.6)	(7.0)	(4.8)	(2.2)	(2.9)	(7.7)
令和3年 総数	92,267 (100.0)	8,238 (8.9)	53,056 (57.5)	7,227 (7.8)	1,339 (1.5)	4,838 (5.2)	6,379 (6.9)	1,790 (1.9)	1,144 (1.2)	4,761 (5.2)	3,495 (3.8)
0歳～4歳	2,464 (100.0)	719 (29.2)	1,004 (40.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	133 (5.4)	608 (24.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
5歳～9歳	15,921 (100.0)	2,078 (13.1)	8,469 (53.2)	0 (0.0)	340 (2.1)	985 (6.2)	1,644 (10.3)	549 (3.4)	183 (1.1)	1,261 (7.9)	412 (2.6)
10歳～14歳	33,298 (100.0)	3,031 (9.1)	20,703 (62.2)	471 (1.4)	490 (1.5)	2,030 (6.1)	2,397 (7.2)	703 (2.1)	251 (0.8)	2,184 (6.6)	1,039 (3.1)
15歳以上	40,584 (100.0)	2,410 (5.9)	22,880 (56.4)	6,757 (16.6)	509 (1.3)	1,690 (4.2)	1,730 (4.3)	538 (1.3)	710 (1.7)	1,316 (3.2)	2,044 (5.0)

(2) ひとり親の困っていること

ア 母子世帯の場合、「家計」が 49.0 %、「仕事」が 14.2 %、「自分の健康」が 10.7 %となっている。

イ 父子世帯の場合、「家計」が 38.2 %、「家事」が 14.1 %、「自分の健康」が 11.8 %となっている。

表 2 4 - (2) ひとり親本人が困っていることの内訳 (最も困っていること)

	総 数	住 居	仕 事	家 計	家 事	自分の健康	親族の健康・介護	そ の 他
母子世帯 平成 28 年	(100.0)	(9.5)	(13.6)	(50.4)	(2.3)	(13.0)	(6.7)	(4.5)
令和 3 年	844,898 (100.0)	79,421 (9.4)	120,236 (14.2)	414,410 (49.0)	25,638 (3.0)	90,410 (10.7)	56,980 (6.7)	57,803 (6.8)
父子世帯 平成 28 年	(100.0)	(4.5)	(15.4)	(38.2)	(16.1)	(10.1)	(11.6)	(4.1)
令和 3 年	91,907 (100.0)	4,290 (4.7)	10,513 (11.4)	35,141 (38.2)	12,973 (14.1)	10,835 (11.8)	9,981 (10.9)	8,174 (8.9)

注：1) 令和 3 年度の調査結果は推計値であり、平成 28 年度の調査結果の構成割合との比較には留意が必要。なお、比較に当たっては、政府統計の総合窓口 (e-Stat) に掲載している実数値の構成割合と比較を行う必要があることに留意。

注：2) 総数は「特になし」と不詳を除いた値である。

(3) 相談相手について

ア 「相談相手あり」と回答した割合は、母子世帯では 78.1 %、父子世帯では 54.8 %となっている。

イ 相談相手についてみると、母子世帯、父子世帯ともに「親族」が最も多い。

表 2 4 - (3) - 1 相談相手の有無

	総 数	相談相手あり	相談相手なし	
			相談相手が欲しい	相談相手は必要ない
母子世帯 平成 28 年	(100.0)	(80.0)	(20.0) (100.0)	(60.2) (39.8)
令和 3 年	1,154,963 (100.0)	901,452 (78.1)	253,511 (21.9) 100.0	147,380 58.1 106,131 41.9
父子世帯 平成 28 年	(100.0)	(55.7)	(44.3) (100.0)	(54.1) (45.9)
令和 3 年	140,985 (100.0)	77,324 (54.8)	63,661 (45.2) (100.0)	30,583 (48.0) 33,078 (52.0)

注：1) 令和 3 年度の調査結果は推計値であり、平成 28 年度の調査結果の構成割合との比較には留意が必要。なお、比較に当たっては、政府統計の総合窓口 (e-Stat) に掲載している実数値の構成割合と比較を行う必要があることに留意。

注：2) 総数は不詳を除いた値である。

表 2 4 - (3) - 2 母子世帯の相談相手の内訳（最も相談している相談先）

	総 数	親 族	知人・隣人	母子・父子 自立支援 員等	母子・父子 福祉団体	公的機関	NPO法 人	任意団体	その他
平成 28 年	(100.0)	(61.9)	(33.3)	(0.4)	(0.0)	(1.5)	(0.1)	(0.1)	(2.7)
令和 3 年	868,495 (100.0)	551,779 (63.5)	265,197 (30.5)	3,034 (0.3)	1,153 (0.1)	12,575 (1.4)	818 (0.1)	555 (0.1)	33,384 (3.8)

注：1) 令和 3 年度の調査結果は推計値であり、平成 28 年度の調査結果の構成割合との比較には留意が必要。なお、比較に当たっては、政府統計の総合窓口（e-Stat）に掲載している実数値の構成割合と比較を行う必要があることに留意。

注：2) 表中の割合は不詳を除いた割合である。

注：3) 前回調査の「公的機関」とは、母子福祉センター、福祉事務所（母子自立支援員）等である。

注：4) 今回調査の「公的機関」とは、母子・父子福祉センター、福祉事務所等である。

※ 以下同じ。

表 2 4 - (3) - 3 父子世帯の相談相手の内訳（最も相談している相談先）

	総 数	親 族	知人・隣人	母子・父子 自立支援 員等	母子・父子 福祉団体	公的機関	NPO法 人	任意団体	その他
平成 28 年	(100.0)	(64.6)	(31.6)	(0.5)	(0.0)	(1.0)	(0.0)	(0.0)	(2.4)
令和 3 年	76,396 (100.0)	49,898 (65.3)	22,646 (29.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	2,161 (2.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	1,691 (2.2)

表 2 4 - (3) - 4 相談相手が欲しい者の困っていることの内訳（最も困っていること）

	総 数	住 居	仕 事	家 計	家 事	自分の 健 康	親族の健 康・介護	その他
母子世帯 平成 28 年	(100.0)	(9.5)	(11.4)	(53.6)	(2.3)	(9.5)	(6.4)	(7.3)
令和 3 年	133,602 (100.0)	14,110 (10.6)	19,437 (14.5)	65,596 (49.1)	3,159 (2.4)	15,255 (11.4)	7,670 (5.7)	8,375 (6.3)
父子世帯 平成 28 年	(100.0)	(5.0)	(21.3)	(36.3)	(13.8)	(6.3)	(11.3)	(6.3)
令和 3 年	25,702 (100.0)	1,312 (5.1)	3,475 (13.5)	9,557 (37.2)	4,976 (19.4)	2,982 (11.6)	1,742 (6.8)	1,658 (6.5)

注：1) 令和 3 年度の調査結果は推計値であり、平成 28 年度の調査結果の構成割合との比較には留意が必要。なお、比較に当たっては、政府統計の総合窓口（e-Stat）に掲載している実数値の構成割合と比較を行う必要があることに留意。

注：2) 総数は「特になし」と不詳を除いた値である。